

新人民新聞

発行所 人民新聞社

1部 150円 購読料半年間 3,000円
 本社 〒552-0023 大阪市港区港崎3-3-18 2F
 TEL (06) 6572-9440 FAX (06) 6572-9441
 Mailto:people@jimmin.com URL:http://www.jimmin.com 振替口座 00950-4-88555
 東京多摩支局: 立川市柴崎町3-6-3 風林舎内

The JIMMIN-SHIMBUN

3-3-18 2F Kousei, Minato-ku, Osaka, Japan.
 TEL 06-6572-9440, FAX 06-6572-9441
 E-mail: people@jimmin.com
 Subscription: One year 6,000 yen
 (include air mail postage)

HEADLINE

【2-3面】新春・インタビュー(つづき)
 【4面】川柳時評・乱鬼龍
 【5面】戦後大阪・党活動の総括⑧上田等
 【6面】いわせてきて・情報広場

協同・アソシエーションは
グローバリズムをどう超えるか!

田畑 稔(「唯物論研究会」主宰)

聞き手・鶴戸口哲尚(本紙「グローバリズムとポストモダン」連載中)

既成社会主義体制の崩壊から10年、世界を制覇し勝利を謳歌したはずの資本主義体制は今、内在する自己解決不能の矛盾を全面的に露呈しつつ新たな世紀に突入した。グローバリズムの下で拡大する南北・貧富の格差、瞬時に世界を駆けめぐり各国の政治・経済体制を根底から揺るがす巨大な投機マネー、「世界の盟主」アメリカのバブルの崩壊...21世紀、人類最大の課題が「資本主義の歴史的・実践的総括」であることは間違いないだろう。新年にあたり、「アソシエーション」を軸にマルクス再評価を進めてきた哲学者の田畑稔さんに「協同・アソシエーションはグローバリズムをどう超えるか」というテーマで話をうかがった。聞き手は現在「グローバリズムとポストモダン」を本紙で連載中の鶴戸口哲尚さん。(文責・編集部)

▼田畑 現在はいわゆるフォーディズムの時代とちが
 ▼鶴戸口 既成の労働組合の組織率が低下し、社会的影響力が低下した起点になったのは、一つは一九七〇年代初期のオイルショックで国民春闘が成立しなくなったこと、そしてもう一つは、一九八五年プラザ合意後、労働組合が企業といっしょになって財テクに走ったり、違う世代の多様な要求を吸収できなくなつて若者がそっぽを向き、不信感を持ち始めたという二つの転換点があると思います。

い、企業が労働者を大量雇用し丸抱えする条件はなくなり、雇われていたといつても能力主義競争に勝つエリート組は、かなりの所得と生活水準を得るでしょう。しかしそれは限定された層でしょう。

21世紀
フォーディズム後の
労働者

を自動的に実現できるなどありえないことです。ですからアメリカや日本の現実を見て、一定の両極化は避けられないように思えます。

リストラで追いつめられ、多様な分散的な雇用形態を持ち、これまでに闘争経験もほとんどない労働者たちがアソシエーション化を進めて自己主張をするまでにはやはり一定の時間がかかるのではないのでしょうか。両極化に伴うさまざまな問題がある程度深刻化し、会社や政府の温情などに期待を寄せていたのではどうにもならないと自覚せざるをえないような事態が先行せざるをえないでしょう。

しかし両極化があるところまで進むと次の局面では当然アソシエーション化が促され闘いの力が出てきて、一定の平準化作用が働いて、フォーディズムとは異なる新たな調整形態が定着するでしょう。どんな形態になるかは闘争の質に大きく依存するように思います。このプロセスを通して、フォーディズム適応型の従来の脱アソシエーション化した労働組合は否応なく再編成・再アソシエーション化を迫られるでしょう。コミュニティ・ユニオンや管理職ユニオンのような個人加盟で地域密着型のユニオンが現在活性化しているのも、そういう側面から見ることもできるでしょう。

こういう時代をどう読み解いて言葉にしてゆくかという点では、「労働者協同組合(ワーカーズ・コオペレイティブ)ないしワーカーズ・コレク

旧「共産」圏が崩壊して、すでに10年がすぎた。かの国の人たちはそれで「自由」を手に入れたことは報道で知っているが、幸せになったかどうかを報道で確認することではできない。では、あの「カクメイ」とはなんだっただろうか。混沌としている■日本でもマルクス主義者の権威は失墜し、彼らの多くがそれを標榜するのをやめてしまつて、迫力がない。1995年を契機として台頭し、市民派と無党派を基調とする輩は、現代世相を反映してか、自分のまわりに「やさしさ」のバリアを張り巡らし、その外と内とを明確に「差別」して、「我々は新しく正しい」ことを連呼して、結局、無責任である。誰もこの輩に挑戦する者がいない■どこもかしこも、まさに思想的・イデオロギー的な混沌のまま、新世紀を迎えてしまった。これからどうなるのだろう。ただ言えることは、過去の清算なしには新しいものは生まれないということである。生産的で速やかな過去の清算に努めたい。(K)

重信房子は、人民新聞第1061号(昨年11/12掲載)の手記で、「私の逮捕の結果、多くの人々に多大の迷惑をかけてごめんなさい」と謝っている■彼女の逮捕劇や迷惑のかけかたを見ると、あまりに幼稚すぎる。「いつ司法に身を委ねても良い準備を完了する予定でいました」と弁解しているが、逮捕者を出した高槻の某病院にかけた迷惑は、ごめんなさいと謝ってすむ問題ではない■戦前にも出獄した世間知らずの革命家が出て、特高監視の中を無警戒に友人をオルグして回り、半年目に158人の検挙者を道連れに豚箱に舞い戻った(春日庄次郎の共産主義者団事件)■この革命家は友人に迷惑をかけても迷惑と思わず、自分は正しいと思いつづけた。謝った重信房子の方が素直とは言えるが、犠牲の多い革命の失敗から学ばない革命家は革命家とは言えない■もっともガサ入れしか能のない公安警察も、戦前特高の末路そっくりだが。(F)



お元気ですか、重信さん。写真でしか拝見したことのない笑顔が、突然テレビ画面に登場してびっくりしました。「団結をめざして」という総括文を、人民新聞社が発刊した冊子で読んで以来、私は日本赤軍の支持者です■「闘いとは人民自身が闘うもの」「誤りを認め、自己批判することの大切さ」「歴史から謙虚に学び、歴史を引きうけていく姿勢」、日本の左翼が払拭し切れないできたエリート意識、島国根性を必死に克服しようとしてきたあなたの方に学ぶところ大でした■予算削減に困り果てていた日本の公安警察は、「チャンス」とばかりに「赤軍支援者」を限りなくでっち上げ、弾圧を広げているようです。彼らが、思想を裁くことを許すわけにはいきません。堂々と「人民革命党綱領案」を公表し、論議を組織されることを望みます■最後に、実在する他人名義のパスポートを取得し、使用したことは誤りです。真摯な自己批判を。(M)

お金に替わる尺度が必要だ。21世紀に破滅を求めないのなら、それはエネルギー単位しかない。エネルギー単位とは自然の法則と言い換えてもいい■自然の法則を社会の法則に変換するためには、人間の「素直さ、正直さ、気持ち」といった領域をエネルギー価値の高さに織り込む必要がある。例えばフードマイルの概念と地域通貨の概念が接点を持つとか、自然農法と提携関係が接点を持つとかいうことだ■「21世紀を環境の世紀にするために」何を価値の尺度に採用するのか、それは人類が自ら決めていくことだ。人類の一員としてそのプロセスに参加していく覚悟が、国境を越えて、地域を越えて、家族を超えてあるのかどうかを、自らに問いながら残りの時間を生きていきたい■共同体内の交換でもなく、共同体間の交換でもなく、資本労働の交換でもない、新たな交換システムを作り出すこと、その主体となるべき自分を見届けたい。(I)

21世紀

協同・アソシエーションは グローバルを超えろか!

新春☆インタビュー

対抗ヘゲモニー の構築に向けて

「ティヴ」も新しいテーマとして注目されるべきでしょう。資本制企業がリストラや外部化を進め、失業率が上昇していく事態を、協同組合という対抗的アソシエーションでこの空白を埋めていくチャンスと見るということです。

たしかに金融資本や先端産業や基幹産業では、巨大な再編過程がグローバルに進展しているのですが、これが今日の経済のすべてなのではありません。地域経済が見直され、福祉や医療や生活環境関連サービスといった日常生活密着型経済領域が今後比重を高めていくことも間違いのないでしょう。世界の協同組合運動は早くから協同組合的地域共同体の形成を目指していますし、イギリスの政治学者ポール・ハーストの「アソシエーティヴ・デモクラシー」も、アソシエーション連合型の地域経済構想を含んでいます。

地域経済に関わるアソシエーション戦略は、オールタナティヴな生活の実践という面からも、つまり地球環境危機という事態に直面した人間たちの一種のモラル改革という点でも注目されるべきでしょう。たとえば今月四〇万円稼がないと豊かな生活ができなかったが、一五万円のお金でエコロジカルに、しかも人間関係を中心に、それなりに豊かに生きていく。あるいは就職難に不満を言うだけではなくて、自分たちで積極的自治的に職場を創つて

くという生き方、働き方です。もちろん現実の市場競争の中で地歩を確保していかなければなりませんから、しっかり経済合理性を身につけることやネットワークを形成すること、さらには不断にメッセーを発信し政治的手段を利用することなども不可欠ですが、そういう可能性はフォーディズム後の社会ではかなりあると思います。

21世紀

経済民主主義 ＝企業市民の自治

▽鶴戸口 一九九七年のアジア危機の時でも、基本的には、日本の勤労者から集めた生保などの金融機関の金がアメリカに渡り、その金をアメリカが動かしてアジアの数千万の労働者をアツという間に失業させました。その上日本も経済危機が進行しました。日本の労働者の金で東南アジアを痛めつけ、自分たちも失業するという事態になりました。勤労者が自分たちの自治集団で金を管理するという構想の可能性はどうなのでしょう?

▼田畑 合衆国の政治学者ダールに「経済民主主義」という書物があります。そこで彼が言っているのは、今日の政治的民主主義を脅かしている最大の構造的問題は、それが内部に会社という巨大な「専制」システムを抱えている点にあるということです。

たしかに今日の会社は権力システムとして見れば、所有に基づく物件の権力と経営機

21世紀

貨幣と権力と アソシエーション

▽鶴戸口 勤労者がなぜそういう行動をとるかというところもあるのですが、基本的には「欲望」というのが普遍的にあります。グローバルイズムが一番恐ろしいのは、労働者がも含めて欲望が解放された、金で世界が動かされているということ。自分自身

の欲望に殺されかねないという事態です。さまざまな経済学者・哲学者・社会学者が、今「貨幣」を定義つけようとする試みがありますが、新しい生活の哲学が何か必要なのではないでしょうか。

▼田畑 たしかに近代市民社会における人間たちの存在に



義への転化過程を促す上で「信用」のもつ決定的に重要な意味はマルクスも強調しています。すぐには失敗したとはいえブルードンの「人民銀行」のように早くから実践的試みもありました。アソシエーション戦略を考える以上、この問題は避けて通れないでしょう。

に巨大な影響力を持つために、政治的民主主義は構造的危機に陥っていると。ところがダールが言うように、この権力が動かす資本と見てもその基本部分は勤労者の預貯金なんです。このことを法理論的根拠にダールは「コーポレート・ガバナンス」を「企業市民の自治」として再編成することを主張しており、さきほど触れましたハーストの地域経済構想にも同趣旨の主張が見られます。協同組合ないし経済民主主義

もちろん協同組合の相互支援のような事実上の信用組織化は日本でもすでに行われていると考えられるし、労働金庫や各種共済制度もあるわけです。ただ日本では「労働者協同組合」の法律もまだない状態ですから、アソシエーション過程を質的に本格化させていく中で実践的に答えていくしかないでしょう。

において、貨幣がしめる位置は絶大なものがあります。マルクスの示唆に従えば、「人格の共同体」が解体するに比例して巨大な商品世界という「物件の共同体」が現出し、貨幣がこの共同体の王として君臨するわけです。そして人と人との関係を物と物との関係に置き変えていくことで初めて人間関係をグローバルな規模で網の目のように張り巡らせることもできたと言えるでしょう。グローバルゼーションと言われるものは多様な側面を

新年あけましておめでとうございます！今年も共にがんばりましょう

ともにがんばりましょう！

救援連絡センター

東京都港区新橋二一八一六
電話(〇三)三五九一一三〇一
FAX(〇三)三五九一一三五八一
Email: kurenelive@aol.com

「格子なき牢獄」
購読ありがとうございました

加瀬 勉

千葉県香取郡多古町牛尾三三七
電話(〇四七九)七六一二六三四

(株)技術と人間
代表取締役

高橋 昇

東京都新宿区新小川町三丁目一六
電話(〇三)三二六〇〇九三二一
FAX(〇三)三二六〇〇九三二〇

宮崎 学

http://www.zotto-ne.com/miyazaki/

いいだ もも

上田 等

大阪府箕面市今宮三二一七二
電話(〇七二七)二六〇〇七八一
FAX(〇七二七)二六〇〇七八一

もつてしようが、その基底に人間関係のこのような物件化があることは明らかです。

私はアソシエーション過程は、原理的レベルで見れば、物件化・物象化過程および権力過程への対抗過程であると位置づけています。物件化は人と人との関係を物件相互の関係として現出させ、諸現象を諸物件の自己運動のように現出させます。そこに経済危機やエコロジー危機や文明の危機と言われるもの、あるいは人類の危機と言われるものがはさまれているのです。

ていような狭隘な前近代の共同体に戻るのではなく、世界的自治的に共同性を実現しようとする運動だと言えるでしょう。

や権力社会や前近代的共同体のような脱アソシエーション化する力が常に同時に働いていることも前提して考えるべきでしょう。これらと対抗的に併存し、脱アソシエーション化と再アソシエーション化を繰り返しながら、ヘゲモニー(主導性)やドミナンス(規定性)を争っていく永続的

な闘いであると考えたほうがいいと思います。

戻って再出発する、こういうあり方が「アソシエーティヴに生きる」「現実の姿でしよう。しかし諸アソシエーションは、それらがモラルの高さと普遍性をもつ限りにおいて、強いメッセージ性や波及力をもつことも忘れてはなりません。

権力過程についてはどうでしょうか。社会的権力は人々を束ねて「社会的な諸力」を組織化します。そこに権力関係の社会的実質があるのです。しかしこの「社会的諸力」は束ねられた人々自身の結合された諸力として現出せず、彼らを束ねている松下手の助さんや池田大作さんの力として、あるいは資本という物件の力として「外化形態」として現出するのです。ここでも束ねられているだけの人間は物件化と同じで協議主体、責任主体として現れることができない。

逆のアソシエーション過程は、束ねられた人々がさまざまな危機をテコに、単に束ねられているのではなく、動的消費者として、あるいは受動的に束ねられたものとして文句だけ言うというのは楽です。しかし麻原のあり方は信者のあり方であり、貨幣支配の在り方は我々自身の関係のあり方なのです。アソシエーティヴに生きる「方向」でわれわれ自身の関係性の再構築が問われていることになりま

す。

ただしこれは原理論の話です。実践論的には「過程論的アソシエーション論」に立っています。全てを一挙にアソシエーション化するという主張はある種の理念主義です。むしろアソシエーション化不能の外部現実を不断に認めなければなりません。また市場

つまりアソシエーション過程を決定的に前進させる実践的中心となるような「前衛的」アソシエーション形態は何かということでしょう。

アソシエーション化は逆に、人々が協議主体、責任主体として現れ、一見諸物件の自己運動に見えるものを人々自身の関係行為の所産として自覚的に了解し、自治的に調整しようとする運動であると言えるでしょう。ただし個人がまた目的として確立し

た。これは原理論の話です。実践論的には「過程論的アソシエーション論」に立っています。全てを一挙にアソシエーション化するという主張はある種の理念主義です。むしろアソシエーション化不能の外部現実を不断に認めなければなりません。また市場

運動形態があるのでしょうか？

私は歴史過程としてアソシエーションを見ようとするので、運動形態は共時的に考えても通時的に考えてもきわめて多様と考えています。

通時的に見ますと、国家にかかわってNPOやNGOや緑の党など、企業にかかわって労働者協同組合やコミニティーユニオンなど、市場にかかわって消費者運動や協同組合ネットや地域通貨(LETS)など、家族や地域社会にかかわってヴォラン

新春・狂歌

★乱鬼龍

元日や今年もあるぞ大晦日ないと思ふな地震恐慌
正月とこんな程度の政治家が揃いも揃い初笑いする
フトコロは寒く政治はなお寒く

地球ばかりが温暖化する

森無能民主はグズで共産は現実路線などとあきれる
初詣すでに神なく仏なく職なく金なく際限もなし
正月のどこがめでたいホームレス

資本の風の冷たさを知る

アメリカのバブルはじけて大恐慌
ブッシュブッシュと荒波が寄せ

21世紀

前衛的 アソシエーション



▼田畑 社会学者の佐藤慶幸さんはアソシエーションを「目的」によって経済的、政治的、宗教的、教育的、保健福祉的、学問的そしてリクリエーショナルに分類しています。また機能によって体制維持的と体制変革的、表出的と手段的に分類しています。お尋ねの点はおそらく「体制変革的」「表出的」でもあるような、

社会にかかわってヴォラン

ティア・ネットや文化スポーツクラブや子育てネットやセルフヘルプグループや協同ハウスやオルタナティブ・グループなどが比較的に注目されています。また地域でこれら経済的・政治的・生活的・文化的な諸アソシエーションを実践的に結合しつつ、対抗ヘゲモニーを構築することが、多くの活動家たちによって目指されています。日本の運動の現実から出発してあえて中心環を言えば、これら諸形態に共通するアソシエーションの論理を自覚化し、国家、企業、市場、家族、地域社会といった現存諸システムの再編過程に一定の方向性を与えるということだと思います。

【兄 白】 ウメ星

「お年玉」 世界恐慌の音が 聞こえている

子ども銀行

(次号につづく)

新年あけましておめでとうございます！今年も共にがんばりましょう

ブレインセンター
代表・編集長

稲田 紀男

大阪市北区天満四丁目一三
電話(06)六三三三三〇〇
FAX(06)六八八一二六三〇

いながき ひろし

大阪市西成区萩之茶屋二丁目二
電話(06)六六三三三〇〇
FAX(06)六六三三三〇〇

ご かい

〒790-0005
松山市宮西町三丁目五
電話(089)九二五一一三八三

新車を買おうと思ったら
まずカーくじらで見積
きつと納得の値段で買える！

全国どこでも
どんなメーカーでもOK！
納車は正規ディーラーから。
アフターも安心！

★アクセスはこちら
http://www.car-kujira.com
Email/webmaster@car-kujira.com
電話 0887-57-1454 Fax 0887-57-1453

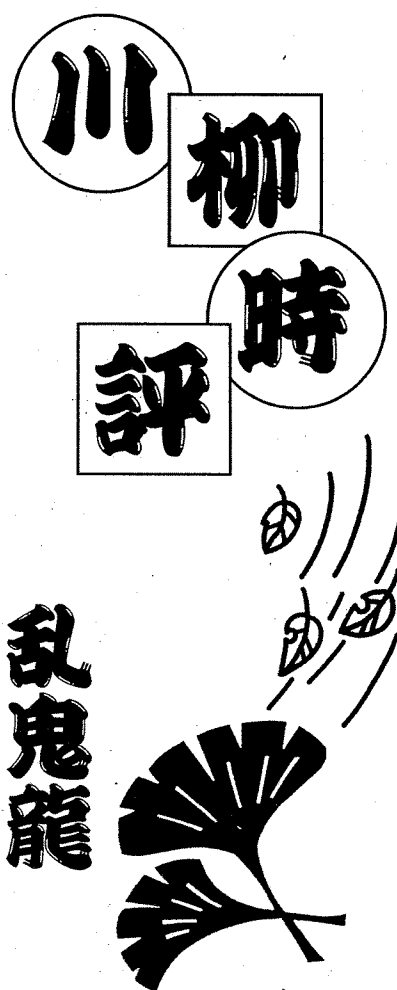
インターネットカーディーラー
カーくじらドットコム

弁護士 岡田 義雄

大阪市北区西天満四丁目三番三三三光ビル内
電話(06)六三三三三〇〇

株式会社 現代書館

東京都千代田区飯田橋三丁目五
電話(03)三三三三三〇〇
FAX(03)三三三三三〇〇



新年の新年を問う 新世紀 生き方を世界を変えよ 新世紀

どのように総括し、どのように評価・批判等を持つにせよ、二〇世紀という時代が終わった。

そして、どのような希望があるか、ないか。不鮮明で混乱に充ちているか、ともかくも二一世紀という新しい世紀が今始まった。

振り返って、二〇世紀の世界と日本、そして自分自身の「ささやかな個人史」をも重ね合わせ考えてみると、多くの点で反省や悔恨の「苦渋の念」に充ち充ちているといえよう。

そして、そうした批判や懺悔の念をどれだけ深く掘り下げ、どれだけ深く総括し、どのように新世紀という時代に活かしていけるのか。

まさに、そうしたことが根底から問われ、求められている新世紀の出発点と言えるのではない。

そのようなギリギリとした思いで、この国の全体を考えると、まさに、政治も経済も環境・福祉・教育・農林水産業……といったありとあらゆるものが「二一世紀的矛盾と限

界に突き当たり、その誤りや破産を如実にさらけ出している——というのが、二〇世紀「終末」の世界と日本、そして私たち個人の「ゆりかごから墓場まで」の「惨憺たる姿」ではないか。

そんなこんな思いや、自己批判をも重ね合わせて、自分なりに新世紀への展望や出発点をどのように考え、導き出すべきか……などと考えると、二一世紀という新しい時代には二〇世紀「負の遺産」を全て「反面教師」として「肥料」とし、新しい芽を発芽させるくらいの発想も「必死の努力」もなければ、とても活路など見いだせないであろうと思ふ。

そして、そのような立場から「政治」「経済」といった「国家的なものから、私達一人一人の「働き方」「食べ方」「住み方」「生き方」「コミュニケーション」の仕方……といった全ての面にわたる事柄を、本当に本気になってその根底から変えていこうとしなければ、私達には小さな前進すらもないだ

ろうという思いがする。そんな立場から考えると、たとえばこの国の「議会制民主主義」は、もはや「議会制民主主義」と呼ぶにさへ値しない「死に体」であり、「腐った

コップの中の水」でしかない。「野党」という存在もまた、そのコップの中のお仲間程度にしかならない——というところまで来ていると言つて言い過ぎではないだろう。

だから「その「低投票率」であり、「無党派層の増大」なのである。また、昨年の長野・栃木県知事選、および東京の川田選挙に「突出」したような反乱なのである。死に体なのは与党の側だけでなく、既成政党もまた同罪なのだ

という天の声を私たちは厳しく聞くべきだと思う。そのような意味で私たちが、二一世紀の入口に立つて、今までの「全ての常識」を打ち破つて、政治とは選挙とは人生とは、そしてその他のetc、

とはいつたいいかなるものであり、いかなるものであつてはならないのか……?! 等々のことをもつともつと根源的にそしてまた「素朴かつ大胆に考え、発想し、行動する新しい時代にすべきだ、そうしたいと思うこの頃である。

しかし、そのような発想や「新しい思想」「哲学」といったものがある日突然、天から降ってくる、などということはないというのもまた白日の理というものである。

だから、そのためには私達自身もつともつと本心に、ホンモノの学習もしなければならぬ。

そしてそのためにはまた「働き方」や「暮らし方」「生き方」といったものの「自己変

命」もありうるかも知れないが、それは昨日、今日考えたのではありません。

私のいる所は全くの山間部です。一番初めは田のことです。山、農民の立ち上がり、その次、田や畑の基盤整備、反対闘争、農民自身が闘いに立ち上がったのです。

反大型店進出闘争（これも二〇五四年にかけては権力闘争（官有林を含む）と、松川事件等を闘つて、また裁判闘争等も、日石事件等を闘いました。日石事件で増淵さんが無罪を勝ち取りました。

今、あらゆる問題が目前に

革」を迫るものになるだろう。

世界の、日本の変革と、自身自身を変革していくことが重なり合い、世界と日本とそして会社や地域の中で闘っていくことと、自分自身の弱さや矛盾と闘っていくことが重なり合い、「ひとつ」になるという「弁証法」の中に、私達の二一世紀の希望は存在すると考えている。

新しい時代の門出なればこそ、私達はまず「我が信念」の根底を問う新年であり、世界を変革するためには、自分の行き方をもつともつと変えなければ、とても闘えないような時代と世界に生きているということをより強く深く実感せねばと思うのだ。

三万五〇〇〇円にならぬところから介護保険を引かれ（天引き）しています。しかし、もしここで、私が娘たちからの仕送りとか、いろいろ言ったら、大変なことになると思います。そしてそのわずかな年金を、娘の一人はねだつてとつていくのです。考えられますか？

このへんは大阪へと違つて、これからはもつときびしい冬を迎えねばなりません。権力と、私私たちとの一騎討ちです。

(二〇〇〇・一二・一九日)

女と男のちがいのもの

福島・宮沢さん

私たちのほとんどは一カ月

新年あけましておめでとうございます！今年も共にがんばりましょう

一人でも誰でも加入できます
リストラ・解雇・職場いじめなどの労働相談
管理職ユニオン・関西
ユニオンあゆみ

大阪府北区東天満二丁目二五
電話(06)688-1107
FAX(06)688-1107
http://www.m.kansai.or.jp

元目黒区議
戦争への道を許さない目黒の会

宮本なおみ

東京都目黒区目黒本町六丁目一八
電話(03)371-5196
FAX(03)371-5196

行者芳政

元自治体現業労働者

奥村貴夫

大阪府八尾市山本町南三丁目三二
電話(072)917-4323
FAX(072)917-4323

労働者共産党中央機関紙
『プロレタリア』

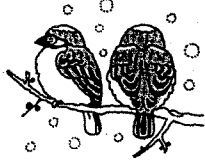
新世界通信

東京都足立区梅島二丁目三八一
電話(03)384-9149
FAX(03)384-9149
E-mail: go3129@proletariae.jp

(南)瀬戸田農場

加藤憲章

広島県豊田郡瀬戸田町中野五二八
電話(084)521-6140



四、高槻、北摂の当時の 情況・闘争(一九四九、一九五一年)

②

日紡山崎工場工作

高槻での主な任務は二つだった。一つは繊維労働者への働きかけ、即ち日紡山崎工場工作で、これは北摂、高槻というよりも、関西地方委員会の方針だった。

(注)一九四九年三月の第二回関西地方委員会「結語」で、特に「繊維労働者の問題について」として、「特に関西地方が繊維産業において占める地位を重視し、各級党機関はそれぞれの条件に応じて繊維対策の樹立を図ることが要求される」と述べられている。

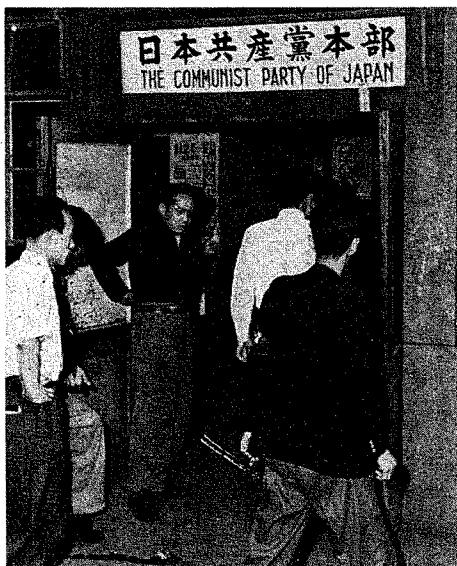
二・一闘争後、前進を続けていた産別を中心とする闘争は次第に受け身になり、後退を

余儀なくされていた。内部からの分裂工作が進み、右翼社民の攻撃が露骨になった。党は産業別闘争から職場闘争、地域人民闘争へと方針転換、総同盟を中心とする右翼労働運動に対して民主化闘争を強化した。大阪では日紡貝塚の「糸ぐるま事件」を機に、総同盟右派の牙城、全職同盟の民主化工作に重点がおかれた。これを担当したのは青共OBグループだった。

繊維対策部の責任者は井井とめを、拠点工場として奈良県の日紡高田を吉野、北摂の日紡山崎を、日紡山崎はそれまで吉野が工作にあたっていたのを引き継いだ。日紡山崎には党から清水富美子が工作者として入っていた。私は彼女と連絡をとり、工場内と外から協力しあつて、この工場に細胞を確立した。井上(その後の堀野と結婚)・糸川善子(診療所にいた人、四国に帰って結婚した相手)が共産党観音寺町議、山根兄弟、奥原(男)が入党した。

二七〇〇人いた工場は、寮が工場の敷地内にあるので、女工さんたちは週に一度しか外に出てこない。工作せよと言われても、相手はコンクリートの塀の中。日曜日に出てくるのを待つて、そのとき一日がかりでビラを入れる。女工さんはほとんどが鹿児島県の農村から出てきた一

戦後大阪の党活動を 総括する立場とは？ — その一部としての私の総括 連載《8》闘い・思想の歴史的継承と 発展に向けて ●上田等



1950年6月6日、日本共産党幹部の公職追放が発表された。当日の党本部

五、一六歳の少女で、ビラを読んでも分らない。出血輪出や低賃金を暴露せよ、政治的暴露が足りないという批判されるが、難しいことを書くこと全部捨てられてしまう。この工作は行き詰まった。

この頃、日紡の細胞は関西地方委員会組織対策部の直属のようになつていった。週に一回の細胞会議で女工を泣かせるビラを作れと言われるけれど、なかなか泣かせられない。ビラの文章が頭にこびりついて眠れなくなるほど集中した。労働者の要求を掴まえることは難しかった。抽象的なことでは絶対に人は組織できないというところを、生まれて初めて肝に銘じた。一九四九年一月からレック・ド・パージュのあとまで一年余毎週欠かさずビラを撒いた。顔を覚えられぬほど撒いた。

紡績の女工、専売の女工は、長時間の立ち仕事で脚がガニ股に変形してしまう。後ろから見てすぐに分かる。やせてきれいになりたいという願望が強かった。ダンスを教えた

り、阪急百貨店に連れて行ったりした。阪急百貨店に行くことが欲しいものばかりで、だいたい買えない。給料が安いと怒り出した。また故郷の鹿児島島の新聞をとり寄せて、その記事もビラの中に入れた。台風の被害を書いたときには、読みながら泣いていた。

細胞も細胞新聞「わたのうた」を発行し、これを中心に組織していった。労働者と接触できないところでも、新聞の発行は、一人一人納得させられなければ、その要求を掴まないと組織できない。一生のうちで一番よくやったと思う。ここで、労働者工作の基本——大衆路線——が骨身にしみ込んだ。大衆は変わるといふ確信を得て、今までやってきた。共産党に教えられたのは、一般論ではあるが、具体的にいうことだった。誰が聞いても正しいと思うようなことをいくらか言っても組織できない、問題は絶えず具体的に提起しなければならぬと教えられた。そして、部分と全体、目的と手段の関係を考えることを常に要求されていた。ストライキに勝つた、経済要求を獲得したといつても、共産

党に行くことがボロクソだった。ストライキマン、経済主義者とやられてしまう。目の前の結果よりも、闘争を通じて全体にどれだけの大衆の意識が高まったか、どれだけの政治的に成長したかというものが厳しく要求された。部分と全体、当面の問題と全体の問題を絶えず考えなければならなかった。その基準は非常に厳しかった。

反面、理論不足だった。経験第一、実践中心で、「理屈を言う奴はあかん」と文句を言わずに、まずやれ」といった理論を馬鹿にする雰囲気があった。抽象論は頭に入らず、すぐはねつけてしまう。

気持ちの中に少しでも安心や思い上がりがある実践をしていないと、知らず知らずのうちに理想が固定し、いわゆる経験主義に陥ってしまう危険性があった。それでも調子のよいときは勉強しなくてもいいけるが、悪くなつてくるとそれで我慢できない。敵が大きく見えて、味方は動揺する。勉強しないと身がもたない。そのときに勉強したことはスツと入った。レーニンの『何をなすべき

か』で、新聞の果たす役割がよく分かった。今でも新聞をよく出す。新聞は組織工作に一番役立つと確信を持っていた。役立つかどうかを話しているから。口で同じことを話しているのは大変だけれど、新聞だと半分読んでももらえたら成功で、新聞代をもらえれば金になる。組織、宣伝、財政が一本化された一番の工作方法だと思つた。新聞なら系統的に一〇年でも二〇年でも言いたいことを伝え続けることができる。系統的に人の考え方を育てていく条件を備えている(もつとも最近ではテレビの影響がメチャクチャ大きくなっているし、パソコンやインターネットなど情報量の膨大化とそのスピードの速さは異常だが……)。

新年あけましておめでとうございます！今年も共にがんばりましょう

月刊文芸誌「かぶらはん」
主幹

松井保

群馬県甘楽郡甘楽町秋畑九九一
電話(〇二七四)七四一九四三八

北摂反戦民主政治連盟

自費出版・本作り・印刷物のことは
すべてお任せ下さい

有限会社 創生社

大阪府港区港崎三三三二一八—F
電話(〇六)六五七二一九四〇〇

別院物流センター

松永了二

京都府亀岡市東別院町鎌倉中垣内四一
電話(〇七七)二七三三六七五

大阪府議会議員

小沢福子

〒569-0077 大阪府高槻市野見町四三三九
電話(〇七二六)七五一一八二〇
FAX(〇七二六)七四一一九七〇

健康に
頑張ろう！

よつ葉ホームデリバリー川西

兵庫県宝塚市山本丸橋二一〇九
電話(〇一三〇)八一三三七八
FAX(〇七九七)八〇一〇八三二

情報ひろば

● 関西 ●

▶「2005年の刑事司法」

◇1月20日(土)PM12:30~5:00/コト・「ニュース・ペーパー」、模擬陪審、パネルディスカッション/大阪弁護士会館(淀屋橋駅)/無料/当番弁護士制度を支援する会・大阪他

▶「沖縄とともに関西連絡会」第6回総会

◇1月21日(日)PM1:30~/記念講演・安里英子(フリージャーナリスト)/部落解放センター

▶連続講座「自治・政策フォーラム」③

◇1月29日(月)PM6:30~/「公営企業体の問題を探る」・澤井勝(奈良女子大)/エル大阪(天満橋駅)/2,000円(通・4,000円)/関西自治・政策フォーラム/連絡・Fax 06-6364-5247

● 関東 ●

▶第22回ビルマ市民フォーラム例会「21世紀—ビルマの春に向けて」

◇1月20日(土)PM5:30~8:30/報告・「“太陽外交”の歴史的背景—賠償とODAに見る日本・ビルマ関係」・根本敬(東京外国語大)、「在日ビルマ人難民申請の動き」・渡邊彰悟(弁護士)、「スズキ/ビルマ問題連絡会経過報告」・佐久間真一(同連絡会事務局)、「ビルマ・タサンダムに関する報告」・大橋環(メコンウォッチ)/池袋・ECOとし(池袋駅)/500円/連絡・Tel 03-5825-1600

▶沖縄—評反戦地主会関東ブロック「総会・講演会」

◇1月21日(日)PM1:30~2:30/総会/2:45~4:00/記念講演会・知花昌一(反戦地主、読谷村議)/すみだ産業会館(錦糸町駅)/連絡・Tel 090-3910-4140

▶「どうなる?どうする?杉並の教育—杉並区教育委員の人選をめぐる」

◇1月21日(日)PM1:30~4:30/講演・「教育委員会の役割・教科書問題」・高嶋伸欣/杉並公会堂(荻窪駅)/500円/杉並の教育をつくるみんなの会/連絡・Fax 03-3396-5716(高野)

▶人権の21世紀をつくる文化の集い

◇1月25日(木)PM6:00~9:00/講演・ピーター・フランク(数学者、大道芸人)、大谷昭宏(ジャーナリスト)/沖縄エイサー・The琉球ネシアーズ/チャンゴ・弾き語り・黄秀彦/ハンディ&シニアファッションショー/ホロコースト展同時開催/沖縄・アイヌ物産、キムチ販売/きゅりあん・大ホール(大井町駅)/500円(手話通訳付)/同実行委/連絡・Tel 03-3774-3143

▶アジア・ライターズ・クラブ定例会

◇1月27日(木)PM6:30~9:00/「ドミニカ移民問題から見た日本の移民政策」・高橋幸春/新宿区立大久保地域センター(新大久保駅)/500円(会員無料)

▶「日の丸・君が代」反対!学校と地域をむすぶ交流会「国旗・国歌法から1年—『日の丸・君が代』強制的な現場で何がおこっているのか?」

◇1月27日(土)PM3:00~9:00/28日(日)AM9:00~PM12:00/日本キリスト教会館・早稲田奉仕園(地下鉄・早稲田)/1,000円(2日目のみ500円)/「日の丸・君が代」反対!学校と地域をむすぶ連絡会/連絡・Tel 03-3205-7363(靖国・天皇制問題情報センター)



新しい民主主義の世紀へ

● アメリ力・城崎

親鸞上人が最後に到達された、いわゆる自然法爾の世界でございますが、この天地大宇宙を、始めのない過去から、終わりのない未来にかけて、生きつづけに生きつづけていく大いなるもの、大いなるいのち、大いなるひかり・宇宙の

新年・新世紀への挨拶を送ります。

ご存知のように、この合衆国では世紀末の大統領選で、

不正、違法、差別、非民主的ななどの実態が自己暴露されました。唯一の超大国として、民主主義の盟主と自称してきていたのですから、なんともはや呆れたことです。

他方、日本(政府)がフジモリを(日本人)だからペルーからの送還要請に応じないといった訳のわからない対応をしていることが、笑話話として

して流布されています。麻薬武器、テロ、殺人、横領、金のロンドリングなどなどに関わっていたことはば明らかなのに、犯罪者フジモリを日本人英雄として遇するというのですから、呆れない方がおかしいでしょう。

そういうダブルスタンダードが幅をきかした古い世紀におさらばして、新しい民主主義の世紀へと歩を進めようではありませんか。共に!

かしたら、今日は、朝三〇分ほ

と申したのは、歳とつたせい

新しい民主主義の世紀へ

● 東京・遠藤誠

ところで、親鸞上人は、七四三年前、つぎのように申されました(末燈抄・要約)。「自然といふは、をのづから、しからしむといふことばなり。行者の

大生命・宇宙意志・宇宙の靈性、すなわち如来のおん力・おんもよおしにすべてをおまかせして生きれば、この地球はこのままで浄土になるのである。人間の小さかしいは

テクと高度の技術・機械の発達と遺伝子の組みかえという、小さかしいはからいに

新年おめでとございませう。昨年中は「人民新聞」を送りいただきながら、お便りもいただいた。大変失礼致しました。また重信同志の被逮捕で、みなさまには、大変ご苦勞をかけてしまったこと、悔やまれます。今年は、新しい世紀の始まりでもあります。微力

ながら、みなさまと共に新しい闘いの道を切りひらいてゆ

きたいと考えております。前進を共に!

編集一言

*何となく前提としていたことが実は単なる思い込みにすぎなかった。そんなことをいくつか体験させられた年末だ。社会に、運動に、そして自身の中に沈黙し凝り固まった「垢」の如きものが、眼・耳・感覚を麻痺させる。閉塞の末の

ど走ったけど、体が自分の体じゃないみたいで、元に戻るのに時間がかりそう。寒い獄中で正月を迎えた人々には申し訳なかった気もするけど……。今年も頑張るぞ。

一世紀へ、「垢」を削ぎ落とし自らの在りようを根底から問い返すこと、つまりは持続的な自己変革の努力こそが基本なのだ。と再度自戒しつつ、いざ!

*今年正月は、地域で運動を一緒にやっている若い人たちが、一緒に故郷に帰りにぎやかな正月となった。彼らの案内で、道後温泉や松山城を散策して、すっかり観光。しみじみ「住みやすい街やなあ」と思ったのは、歳とつたせい

かしたら、今日は、朝三〇分ほ

新年あけましておめでとうございます!今年も共にがんばりましょう

能勢農場

大阪府豊能郡能勢町山辺一七三二
電話(〇七二七)三四一七九七

能勢産直センター

代表取締役

渡邊了

大阪府堺市豊田四六一
電話(〇七二二)九六一三〇五
FAX(〇七二二)九〇一二八九
E-mail:funam@mail.kita-osaka.co.jp

産地直送センター

大阪府箕面市西宿二一五五

能勢産直

寺本陽一郎

大阪府豊能郡能勢町森上一五五九
電話(〇七二七)三四一一〇〇
FAX(〇七二七)三四一三九五

北摂高槻生活協同組合

坂田幸二

大阪府高槻市大字原一三〇四一
電話(〇七二六)八八八四八七
FAX(〇七二六)八八八四八七

有限会社

奈良産地直送センター

奈良市佐紀町二〇五五五
電話(〇七四二)三四一六七五